



株式会社ブロードバンドタワー

(証券コード:3776)

2015年6月期
事業報告会説明資料
2015年9月18日



2015年6月期 通期決算概況

2015年6月期 通期連結決算ハイライト



連結売上高 **31,697 百万円** (前期比 +4,942、+18.5%)
(※当初公表値 : 29,000 百万円)

連結営業利益 **769 百万円** (前期比 Δ 15百万円、 Δ 2.0%)
(※当初公表値 : 850 百万円)

連結経常利益 **758 百万円** (前期比 Δ 43百万円、 Δ 5.4%)
(※当初公表値 : 880 百万円)

連結当期純利益 **58 百万円** (前期比 Δ 180百万円、 Δ 75.4%)
(※当初公表値 : 290 百万円)

ブロードバンドタワーについて

セキュア社とセキュリティ分野のクラウドサービスで資本・業務提携（2014年12月）

ブロードバンドタワーのクラウドで、セキュアの監視用ネットワークカメラシステムを提供



EverySense、IoT事業で資本・業務提携（2015年3月）

ブロードバンドタワーのクラウド上で、EverySenseのセンサーデータサービスを提供



UCSD と共同でサンディエゴにIoT オープンイノベーション拠点を創設（2015年4月）

カリフォルニア大学サンディエゴ校と共同で、現地の先進的な技術を持つ企業との共同開発や有望なベンチャー企業を発掘するIoTオープンイノベーション拠点開設



群馬県みなかみ町に太陽光発電所を設置し売電を開始（2015年2月）

群馬県みなかみ町に当社では2か所目となる太陽光発電所を（ベストミックスエナジーみなかみ）建設し、本年3月6日に開所式を実施。



2015年6月期 通期業績概況(連結)

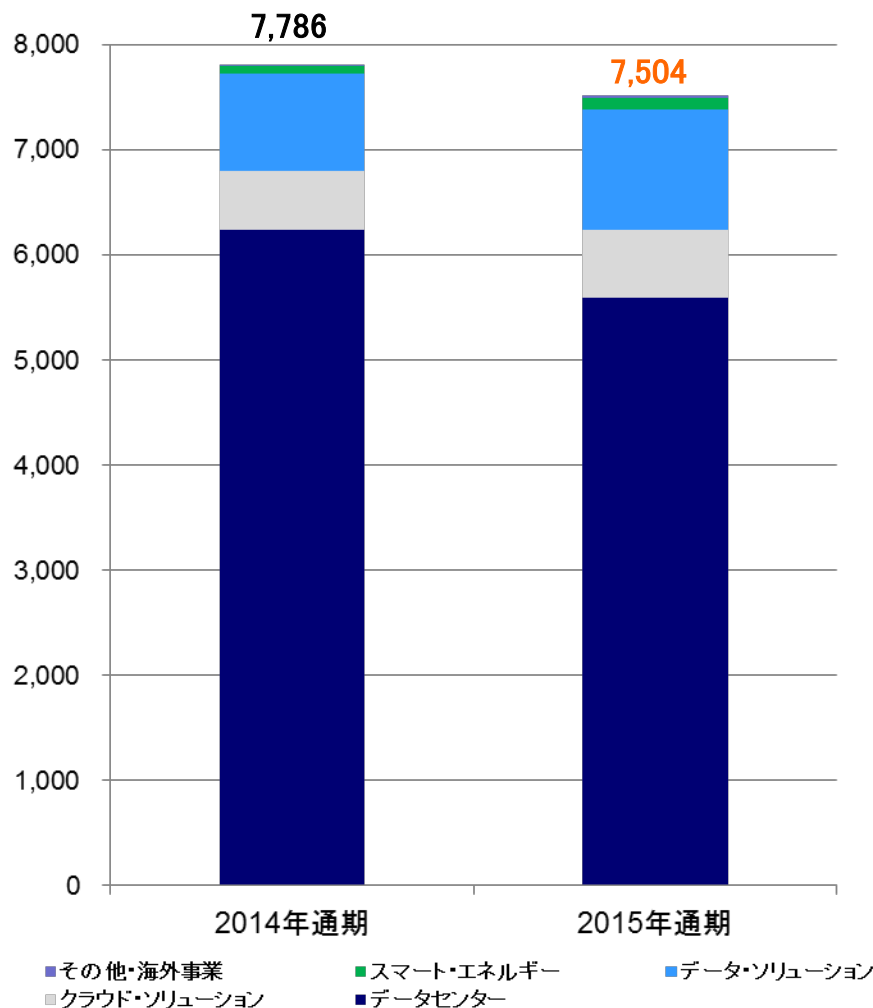
◆ 決済事業を行う株ルディアの開発遅れ、投資有価証券評価損の計上により、前期比/期初予想比ともに減益。

(単位:百万円)	2014年6月期 実績	2015年6月期 実績	前期比		2015年6月期 期初予想 (2014年8/6公表)	実績・予想対比	
			金額	増減率		金額	増減率
売上高	26,755	31,697	4,942	18.5%	29,000	2,697	9.3%
売上原価	22,155	26,399	4,243	19.2%			
売上総利益	4,600	5,298	699	15.2%			
(利益率)	17.2%	16.7%					
販管費	3,814	4,529	714	18.7%			
営業利益	785	769	△15	△2.0%	850	△81	△9.5%
(利益率)	2.9%	2.4%					
経常利益	801	758	△43	△5.4%	880	△122	△13.9%
(利益率)	3.0%	2.4%					
当期純利益	238	58	△180	△75.4%	290	△232	△80.0%
(利益率)	0.9%	0.2%					

セグメント別売上高:コンピュータプラットフォーム

(単位: 百万円)

コンピュータプラットフォーム事業
7,504百万円 (前年同期比△282百万円)



■ その他・海外事業: 36百万円 増収 (前年同期比+8百万円)

⇒ ハワイのデータセンターが今期は期初より寄与

■ スマート・エネルギー: 106百万円 増収 (同+37百万円)

⇒ 売電の月数差等

■ データ・ソリューション: 1,142百万円 (同+221百万円)

⇒ 「ISILON」の販売拡大等

■ クラウド・ソリューション: 647百万円 (同+82百万円)

⇒ 市場の拡大を背景に「c 9シリーズ」堅調

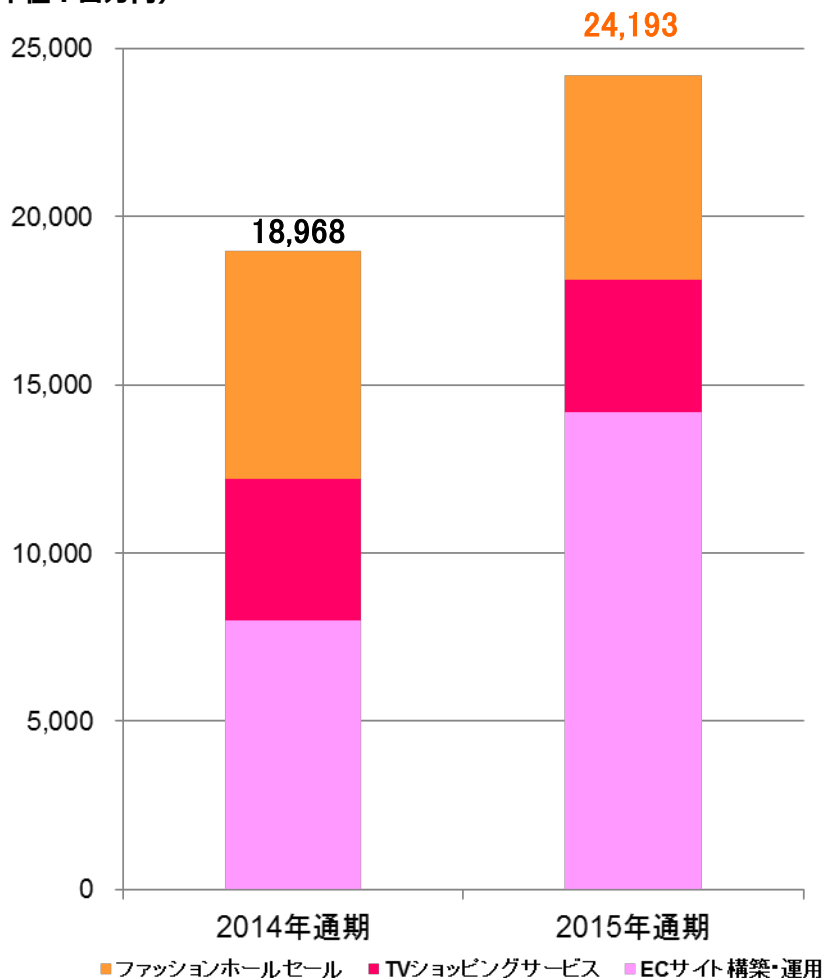
■ データセンター: 5,594百万円 (同▲646百万円)

⇒ 既存顧客の解約等により減少

※売上高は内部振替調整前の数値にて表記

セグメント別売上高：ファッションビジネスプラットフォーム

(単位：百万円)



ファッションビジネスプラットフォーム事業
24,193百万円 (前年同期比5,224百万円)

■ ファッションホールセール：6,049百万円 (前年同期比▲729百万円)
⇒新規連結した中国子会社は堅調に推移したものの、
昨年の夏場の天候不順による売上高の減少

■ TVショッピング支援：3,933百万円 (同▲261百万円)
⇒QVC向けの売上高が減少

■ ECサイト構築・運用：14,209百万円 (同+6,208百万円)
⇒既存ブランドの売上拡大が牽引
サイト数は83→84へ

※売上高は内部振替調整前の数値にて表記

2015年6月期 通期要約BS・CF(連結)

(単位：百万円)

(単位：百万円)

	2014年 6月末	2015年 6月末		2014年 6月末	2015年 6月末
現金及び預金	3,791	5,006	買掛金	2,322	2,691
受取手形・売掛金	3,203	3,294	1年内長期借入金	742	1,044
有価証券	599	2,099	未払法人税	110	172
商品及び製品	661	728	その他	1,180	1,367
繰延税金資産	168	119	流動負債合計	4,356	5,275
その他	228	319	長期借入金	1,742	1,698
貸倒引当金	△2	△4	その他	669	1,038
流動資産合計	8,651	11,564	固定負債合計	2,411	2,736
有形固定資産	1,679	1,992	負債合計	6,768	8,012
無形固定資産	1,055	840	株主資本合計	5,510	7,112
投資その他の資産	1,399	1,379	その他包括利益 累計	1	4
固定資産合計	4,134	4,212	新株予約権	31	25
			少数株主持分	473	621
			純資産合計	6,017	7,764
資産合計	12,785	15,776	負債純資産合計	12,785	15,776

	2014年6月期 通期実績	2015年6月期 通期実績
営業活動CF	1,106	1,441
投資活動CF	△1,158	△475
財務活動CF	416	1,775
現金及び現金同等物の期末残高	4,201	6,956

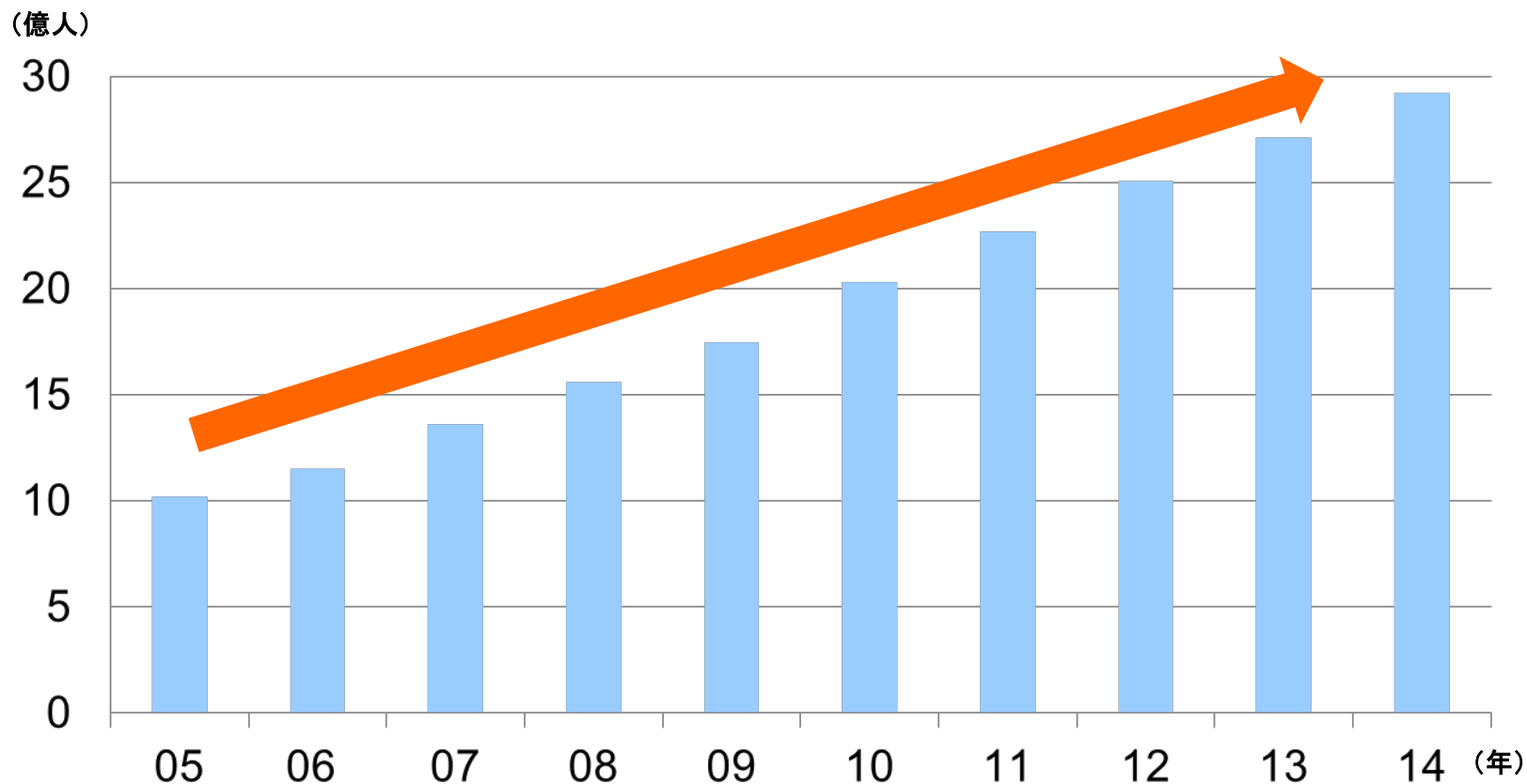
【キャッシュ・フロー主な内訳】

- 営業活動によるキャッシュ・フロー
 - 税金等調整前当期純利益 671百万円
 - 減価償却費 392百万円
 - 売上債権の増加 △23百万円
 - 仕入債務の増加 369百万円
- 投資活動によるキャッシュ・フロー
 - 有形固定資産の取得による支出 △230百万円
 - 敷金・保証金の差入による支出 △228百万円
- 財務活動によるキャッシュ・フロー
 - 長期借入金の増減 △257百万円
 - 自己株式の処分による収入 1,588百万円

当社の方針と戦略について

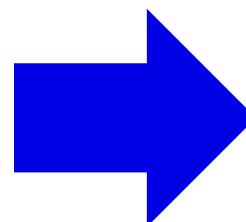
社会・事業環境の認識①

- ✓ 世界のインターネット人口 2005年10.2億人 ⇒ 2014年29.2億人へ
- ✓ 10年間で約3倍にまで増加



出所:平成26年版 情報通信白書

- ✓ ネットワークの進化、拡大
- ✓ ハードウェアの進化
- ✓ センサー技術の小型化・
低消費電力化、低価格化
- ✓ 通信ネットワークの高度化
- ✓ コンテンツ市場の拡大
- ✓ ウェアラブルの隆盛
- ✓ スマートフォンの普及
- ✓ テレビの進化

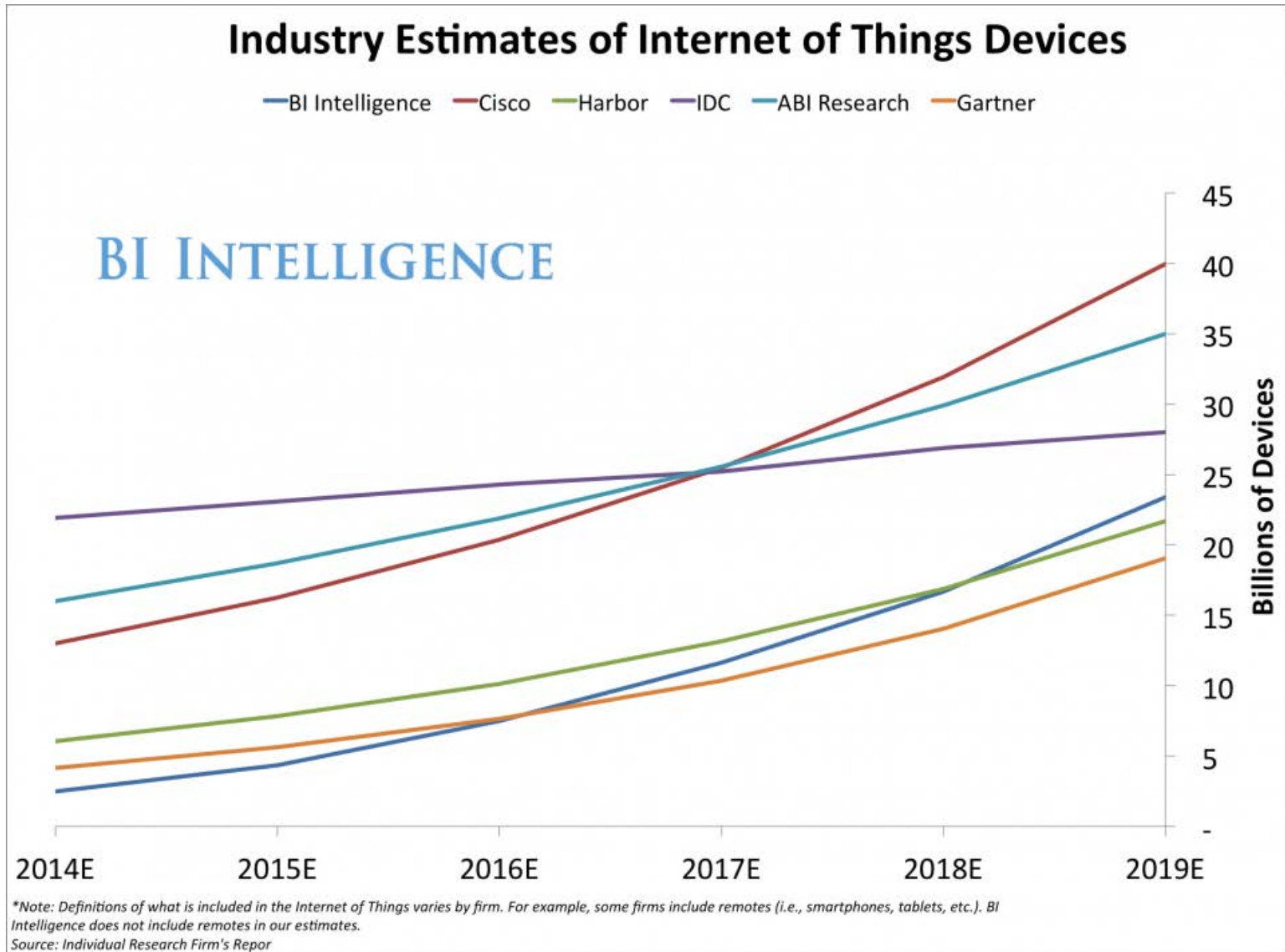


グローバルで空間が繋がる

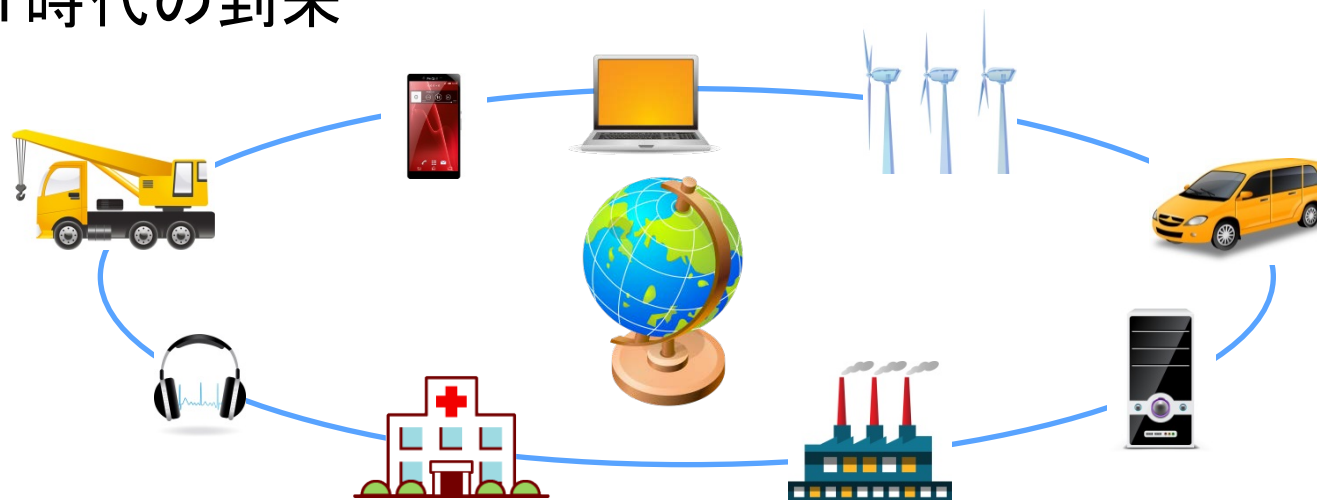
Internet of Things (IoT) の到来



IoT デバイス数の予測: Cisco から Gartner まで約2倍の差



➤ IoT時代の到来

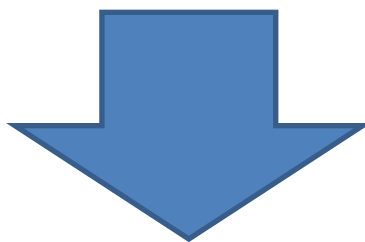


- ✓ 先進国の成熟、新興国の成長
- ✓ 1人当たりの労働の質の向上のためにマシン(機械)が働く



新産業・新サービスを創出するチャンス

ポータルサービス向けの
専業インターネット・データセンター



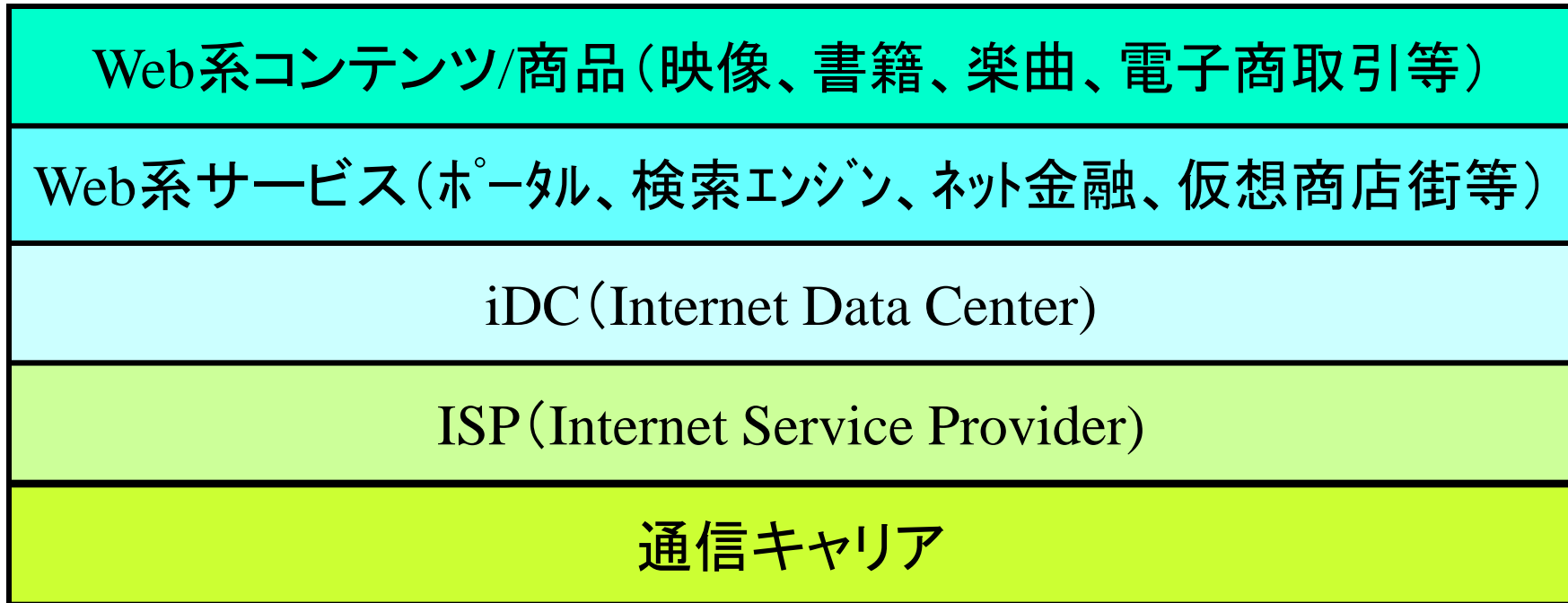
アジアNo.1

データセンター・クラウド・ストレージ技術を有する
IoT/B2Cサービス企業へ

階層から見たインターネットビジネス

インターネットビジネスの主戦場は上位層へ！

上位層



下位層

収入形態から見たインターネットビジネス

- 接続型(通信キャリア+ISP[Internet Service Provider]+iDC[Data Center])
従量(距離・時間)または定額課金によるネットワーク接続ビジネス。
最もクラシックなネットビジネスモデル



上位層ビジネスモデルへ!

- コンテンツ型

初期には、ISPが、従量課金の時代にコンテンツを提供することでアクセスを集めることを目的としていたが、定額課金後が、ISPではなく、コンテンツ提供そのものがビジネスとなっている。

- 広告型

典型的なスタイルがポータルサイトで、多くのユーザーは最初にポータルサイトにアクセスする。したがって、大量のアクセスを集められるポータルサイトは、有利に広告収入を得ることができる。ポータルサイトの代表的な例は、Yahoo!やGoogleなどの検索エンジンと会員数の多いISPである。

- 電子商取引型

インターネットによる双方向にコミュニケーション機能を活用して、オークションやメルマガでの直接勧誘、Webサイト誘導による集客と商品やサービスを販売などのビジネスが定着している。また、従来メディアと比較して、低コストでの宣伝が可能なことから、中小企業によるネットショッピングへの参入障壁は低く、また、個人での電子商取引起業も容易となった。

場所から見たインターネットビジネス

③(ネットワークの)あちら側〔Webサーバ〕

⇒ポータル、検索エンジン、EC、コンテンツ、ネット金融、
ソーシャルメディア

①ネットワークそのもの(IPネットワーク)

⇒IPキャリア、ワイヤレスキャリア、ISP、iDC

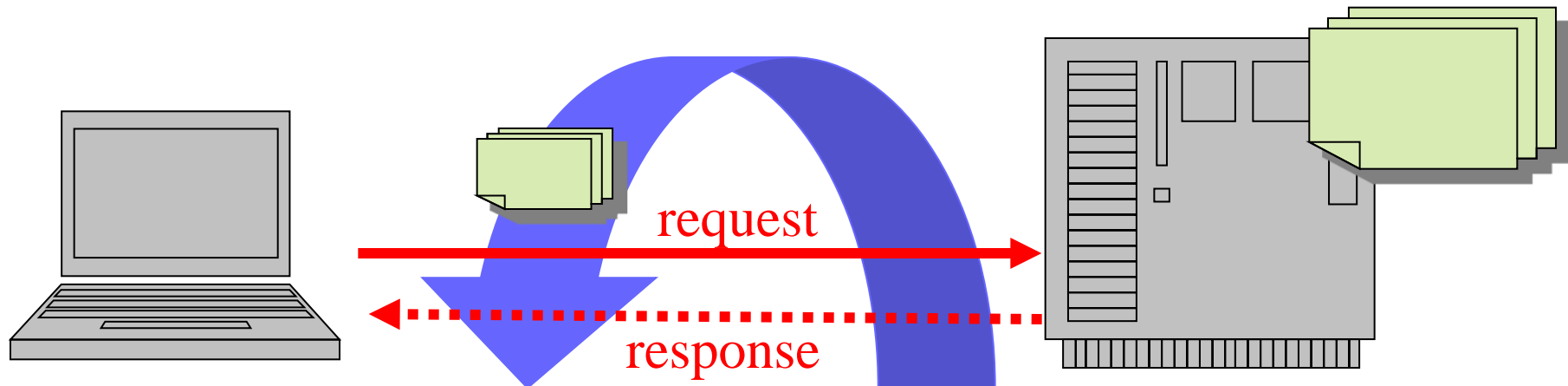
②(ネットワークの)こちら側〔Web端末＝スマホ/PC〕

⇒OS、ブラウザ、P2P

Webの4大要素とネットビジネス形態の進化

④送受信プロトコル:HTTP

①記述言語:HTML



③情報受信: Webブラウザ
(Internet Explorer, Firefox, etc.)

②情報発信: Webサーバ
(IIS, Apache, etc.)

情報発信源によるネットビジネスの進化

第1世代ポータル型
〔サービス事業者〕



第2世代SNS型
〔利用者【ヒト】〕



第3世代 IoT型
〔機器【モノ】〕



facebook twitter



現在の当社グループバリューチェーン

◆ コンピュータプラットフォーム事業

顧客: IT企業/一般企業のIT部門



- ・バリューチェーンが断片的
- ・両プラットフォーム間のシナジー効果が小さい

データセンター・サービス

クラウド・サービス

ストレージ機器販売

スマート・エネルギー

ビッグデータ

決済端末

◆ ファッションビジネス・プラットフォーム事業

顧客: ファッションブランド

ECシステム構築・運用

TVショッピング

ファッション
ホールセール

今後の当社グループバリューチェーン

◆ B2B 顧客: 企業のエンドユーザー部門



◆ B2C 顧客: コンシューマ



B2B/B2C共通の
IoTバリューチェーン化

◆ ファッションビジネス・プラットフォーム事業 顧客: ファッションブランド



方針

既存事業の
強化・拡大

新規事業の
創出

グランド戦略

オープンイノベーション

内部と外部の融合

事業戦略

既存
事業

- ・データセンター
- ・クラウド・ソリューション
- ・データ・ソリューション
- ・スマート・エネルギー
- ・決済サービス
- ・ECシステム構築支援
- ・TVショッピング支援
- ・ファッションホールセール

新規
事業

- ・IoT事業
- ・B2C事業

IoT事業における当社のロードマップ

2015

2016

2017

2018

2019

2020

▲エブリセンス社へ出資

海外IoT関連ベンチャー企業向け投資及びIoT企業との
共同研究のための研究開発投資

IoT事業に絡む研究開発投資

▲IoTデータセンター設置に伴う設備投資

総額約27億円を投資する予定

IoT市場における当社のポジション

アプリ
ケーション

製造

流通

金融

医療

エネルギー

農業

コンシューマー

当社が注力する領域

IoTプラット
フォーム

データ収集

データ蓄積

データ処理

データ分析

データ連携

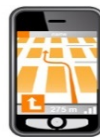
センサー
ネットワーク

近距離無線

Wi-Fi

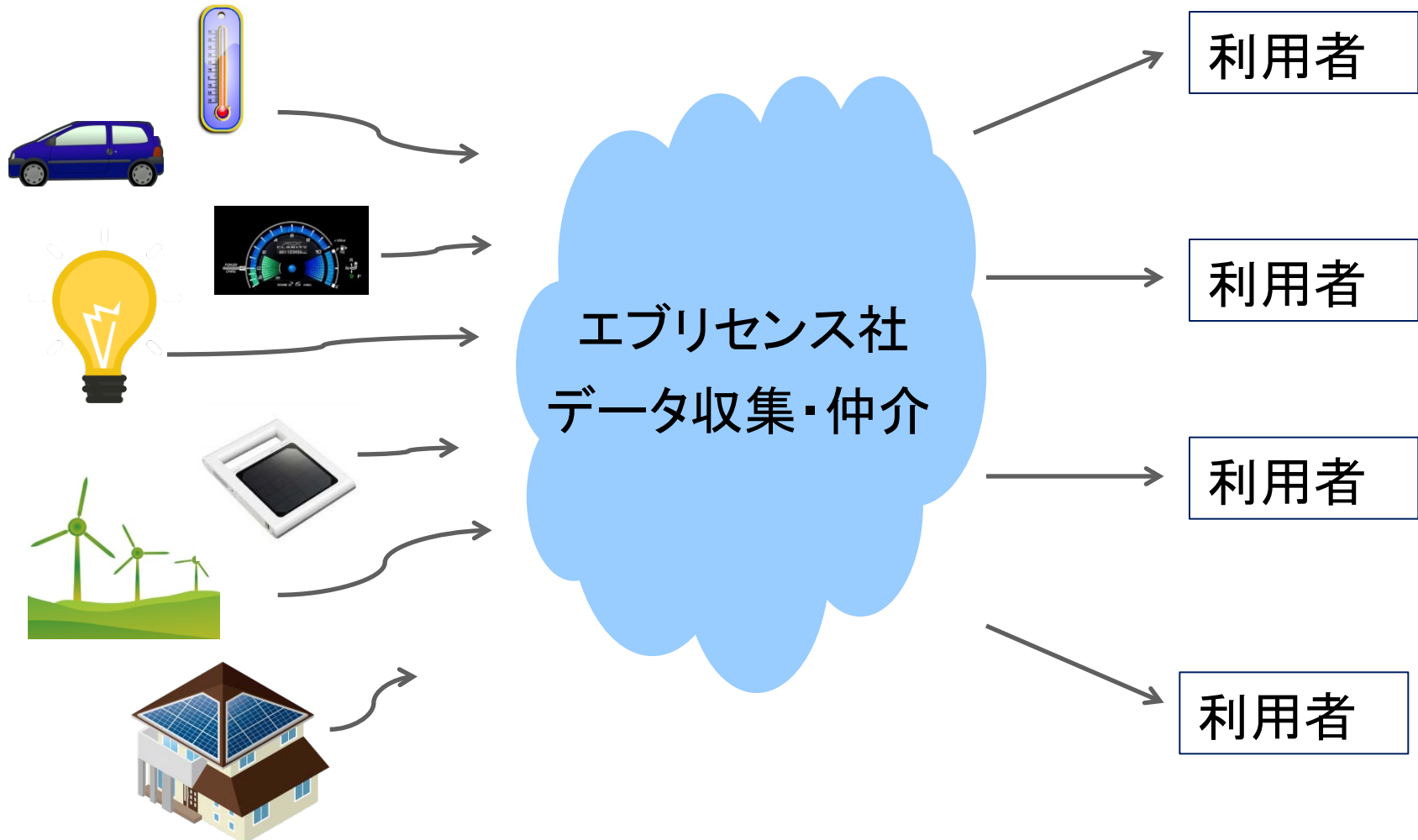
有線LAN

センサー/
デバイス

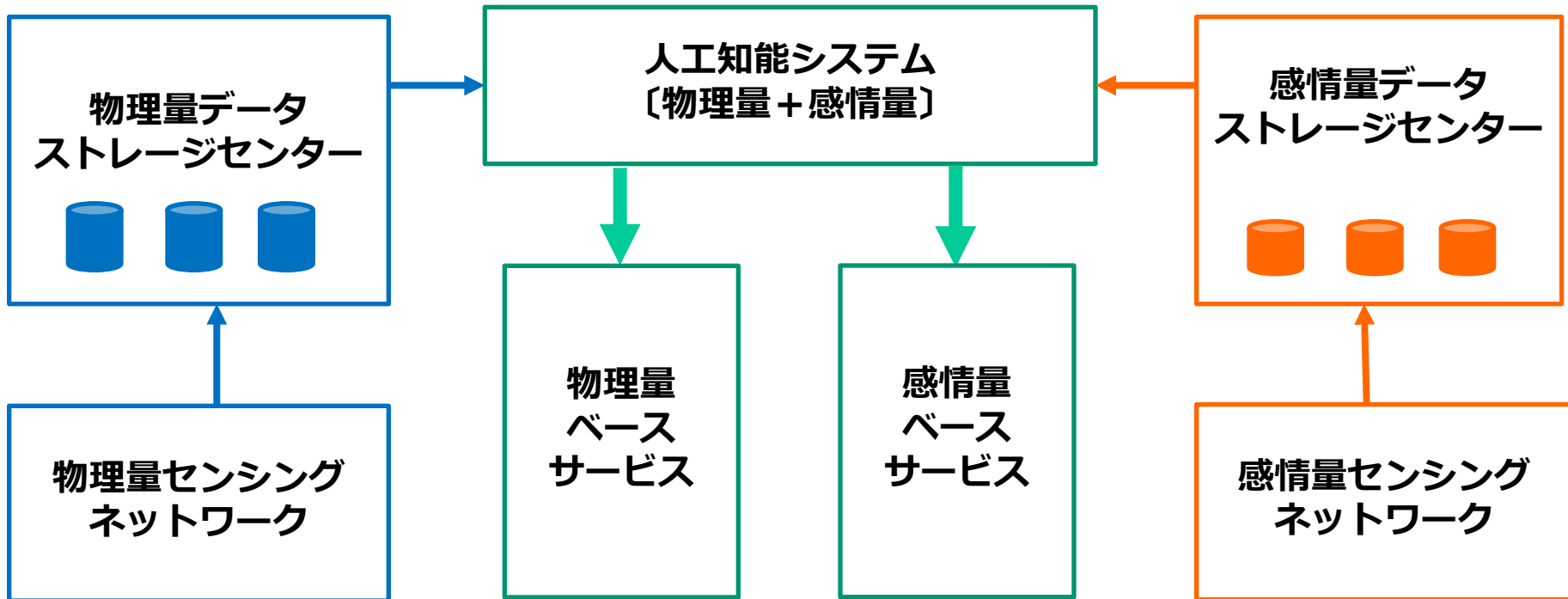


IoT事業における今後の展開①

- 資本・業務しているエブリセンス社がデータ収集・仲介



➤ IoTサービスシステムを構築



B2C事業へ進出

➤ 「アンカーパーソン.TV」開始（当社初のB2C事業）

- ✓ ITの利便性とTVの信頼性を融合
- ✓ 既存事業とシナジーを図る

そのジャンルに
精通した人

=

アンカーパーソン



イメージキャラクター
「アンディー」

「アンカーパーソン」が様々なジャンルを動画で発信



ワイン



ファッション

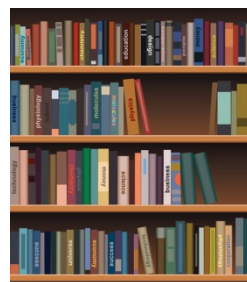


トラベル

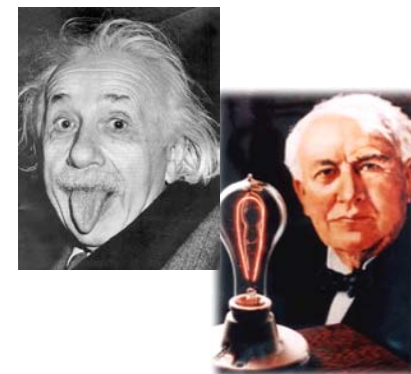


シネマ

ブック



サイエンス & テクノロジー



投資に対する考え方

➤ 市場拡大が見込まれるIoT分野へ集中投資

→2015年から2020年まで投資総額約27億円を予定。

✓ 海外IoT関連ベンチャー企業向け投資及びIoT企業との共同研究のための投資…………… 約14億円

✓ IoT事業に絡む研究開発投資…………… 約4億円

✓ IoTデータセンター設置に伴う設備投資… 約9億円

研究開発に対する考え方

- IoT関連、人工知能等の先端技術に関する研究開発に注力
 - ✓ 人工知能システム
 - ビッグデータ処理や機械学習等を駆使し、様々な事象に対する自動識別可能な計算知能とも呼ぶべきシステム
 - ✓ 物理量センシングシステム
 - センサー・ワイヤレス・ネットワーク技術
 - ✓ 感情量センシングシステム
 - 人間が操作するPC、タブレット、スマートフォンの操作内容、人間の行動履歴等を元に処理されるもの

- ✓ データセンター関連：市場は今後数年間約3～5%の成長が見込まれているものの、価格競争等が激化。
- ✓ クラウドサービス関連：市場は拡大しているものの、大小様々なプレイヤーが存在。
- ✓ データソリューション関連：世の中のデータ量の増大に伴い、データを保存するニーズは堅調。
- ✓ ECサイト関連：市場はEC化率の上昇等により堅調な拡大が見込まれる。
- ✓ 決済関連：市場の拡大が見込まれる。

今後も成長が見込まれるアパレルEC市場

- ✓ ECサイトにおけるリピート購入の増加
- ✓ ECサイトで自分の好みの商品を容易に探索



- アパレルEC市場の規模拡大、EC化率の上昇



ITとアパレル業界向けの高い商品企画力・販促プロモーション力を融合し、
更なる成長を目指す。

拡大が見込まれる決済市場において開発を着実に実行

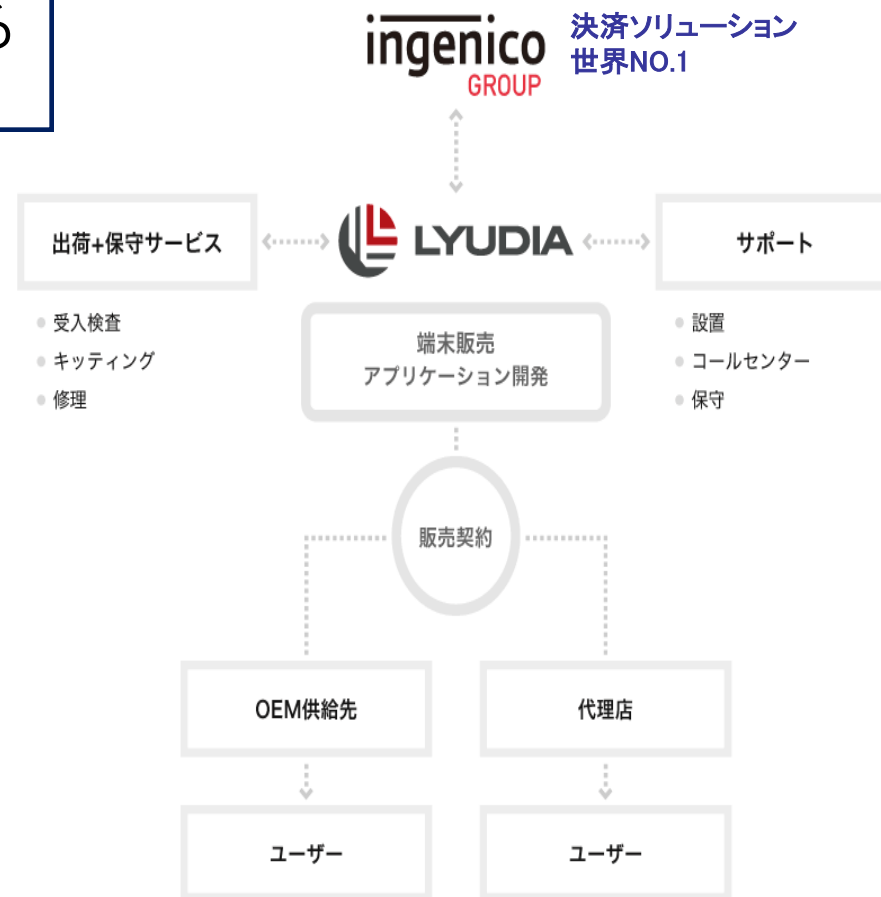
迅速、シンプル、安全な支払方法に対するニーズの高まり



キャッシュレス決済の利便性や安全性の向上が必要



インジェニコ社との協業により、日本市場で必要な決済ソフトウェアの開発を加速



IoT事業、アンカーパーソン.TV事業を推進。

【連結】		【個別】	
売上高	35,000百万円 (前期比: +10.4%)	売上高	7,200百万円 (前期比: △3.9%)
営業利益	500百万円 (前期比: △35.0%)		
経常利益	430百万円 (前期比: △43.3%)	経常利益	100百万円 (前期比: △71.9%)
当期純利益	100百万円 (前期比: +70.1%)	当期純利益	100百万円 (前期比: △6.2%)

※決算短信のとおり営業利益は非開示